

勝浦市議会だより

みんなのギカイ

2023年 第184号 令和4年12月定例会等の内容をわかりやすくお知らせします

特集記事 ^{対談!} **千葉県立中央博物館分館
海の博物館と市議会**



特集記事（対談） 2・3 P
11月臨時会・
審議結果・トピックス 4～6 P
委員会活動等 7・8 P
一般質問 8～13 P
きみの未来、あなたの未来 14 P
議会のうごき 編集後記

令和5年2月
広報広聴
常任委員会
0470-73-6662

特集記事

千葉県立中央 博物館分館 海の博物館 と 市議会

特集記事第31回は、千葉県立中央博物館分館「海の博物館」のみなさんとの対談です。

博物館の仕事について語っていただきました。



豊かな海は、 勝浦の宝物！

【海の博物館について教えてください】

●勝浦を中心とした房総の豊かな海の自然を体験的に学ぶことができるように平成11年に建てられました。年間で5万から6万人ぐらいのお客様にお越しいただいています。スタッフは、学芸系の研究員5名、教育系の研究員1名、庶務系職員2名、体験交流員2名、受付などを担当する会計年度任用職員5名、それに分館長という体制です。海の生き物の学芸員が、こ

れだけそろっている博物館は、日本国内だと国立科学博物館と海の博物館くらいです。

【お仕事について教えてください】

●博物館の仕事を大きく分けると3つあります。1つは展示普及で、常設展示の更新や企画展示の開催、観覧会・講座の実施や図鑑類の発行をしています。2つめは資料収集で、房総の海の生き物の標本や情報を収集・保存し、後世に残していく仕事

です。3つめは調査研究で、集めた標本に基づいて専門的な研究を行う仕事です。勝浦からも新種の生き物をたくさん発見して論文等で発表しています。

【お仕事をされていて良かったこと、苦
労することはありますか？】

●自分の専門分野での展示が物凄く反響があった時は嬉しいです。また研究者ですので、新しい発見をした時は、非常に嬉しいです。一昨年、ノ

りの新種を1つ発見しました。苦勞していることは、仕事が多岐に渡っているため、全てをバランス良くやるというのが、非常に難しいです。

【気候変動(海水温の上昇)による生態系の影響はありますか?】

●過去の情報は多くないため正確に知るには、長期的に観察データを蓄積する必要があります。海の博物館でも開館以降は標本やデータを集めているので、今後も注視したいと思います。

【私たちが取り組むべきことはありますか?】

●まずは自然に触れてそこに生息・生育する生きものたちの姿を見てほしいです。美しく、豊かな海を守るためにできることはたくさんあります。一番簡単で効果的なのは、ゴミを減らすことです。例えばプラスチックやビニールは、できるだけ使わず、使うときはできるだけ再利用すること、ゴミはきちんと処分するこ

と、食べ物を残さず食べること、洗剤を適量に止めることなどです。

【皆さんが考える勝浦市の課題は?】

●勝浦市は豊かな自然を体験するのに最適な場所だと思っています。私も、それを千葉県、全国、世界の人々に伝えなければと思っていますが、十分に伝わっていません。今後、知恵と力を寄せ合って工夫していかなければなりません。海の博物館では、博物館前の磯と鵜原理郷郷を主な観察地としていますが、多くの方々に安心、安全に自然散策を楽しんでいただけるよう、これまで同様に整備をよろしくお願いいたします。また、生き物や自然全般にかかわる計画や課題がありましたら、喜んで協力させていただきしますので、是非お声かけください。

【今後の抱負をお聞かせください】

●当館には、経験豊富な学芸員がそろっています。普段から海のそばに住んでいる方にも楽しんでいただける

ような機会を作り、楽しんでいけるようにしていきたいと思っています。

●市民の皆さんの直接の接点というのが、学校だけになってしまっている、地域といういろいろな関わりを持ちながら活動を進めていきたいと思っています。

●一度観察会とか、大人向けのものもありますので、参加いただいて実感していただければと思います。今日はありがとうございました。



齋木健一分館長



柳 研介
主任上席研究員



菊地則雄
主任上席研究員

令和4年11月臨時会審議結果

令和4年11月臨時会が11月2日に開かれ、議案2件が審議されました。

その結果について、議案2件は、全員賛成で承認・可決されました。

物価高騰の影響に対する支援分として、新たに国から新型コロナウイルス感染症対応地方交付金が交付されたことにより各事業に活用されます。

議案番号	件 名	結 果
議案第73号	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度勝浦市一般会計補正予算)	承認
議案第74号	令和4年度勝浦市一般会計補正予算	可決

令和4年12月定例会審議結果

勝浦市議会ではこんなことが決まりました！

○12月定例会 会期 12月5日から12月15日まで11日間

出席議員の全員が賛成した議案等

議案番号	件 名	付託委員会	結 果
議案第75号	勝浦市教育特区学校審議会条例の制定について	総務文教	可決
議案第76号	勝浦市職員の高齢者部分休業に関する条例の制定について	総務文教	可決
議案第77号	勝浦市学校教育施設整備基金条例の制定について	総務文教	可決
議案第78号	勝浦市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	可決
議案第82号	令和4年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算	産業厚生	可決
議案第83号	令和4年度勝浦市後期高齢者医療特別会計補正予算	産業厚生	可決
議案第84号	令和4年度勝浦市水道事業会計補正予算	産業厚生	可決
議案第85号	指定管理者の指定について	産業厚生	可決
議案第86号	指定管理者の指定について	産業厚生	可決
議案第87号	指定管理者の指定について	産業厚生	可決
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		可決

議会報では、市民生活と深く関わる議案をいくつか取り上げて重点的にお伝えしています。
全議案については、勝浦市ホームページをご覧ください。

議案の賛否（賛否が分かれた議案のみ掲載）

議案 番号	件 名	付託 委員会	議決 結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
				戸 部 薫	岩 瀬 清	瀧 口 和 男	長 田 悟	戸 坂 健 一	渡 辺 ヒ ロ 子	狩 野 光 一	久 我 恵 子	佐 藤 啓 史	岩 瀬 洋 男	松 崎 栄 二	丸 昭	寺 尾 重 雄	末 吉 定 夫	岩 瀬 義 信
議案 第 79 号	勝浦市印鑑条例の一部を 改正する条例の制定につ いて	総務 文教	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
議案 第 80 号	地方公務員法の一部を改 正する法律の施行に伴う 関係条例の整理に関する 条例の制定について	総務 文教	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
議案 第 81 号	令和 4 年度勝浦市一般会 計補正予算	総務 文教	可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
発議案 第 5 号	勝浦市議会の議員の定数を 定める条例の一部を改正す る条例の制定について		否決	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	—	×

「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「退」は退席（棄権）、「除」は除斥、「—」は議長を表します。
※議長は、地方自治法の規定により採決に加わりません。

●トピックス その1

勝浦市教育特区学校審議会条例が制定されました。

構造計画特別区域法に基づき認定を受けた勝浦市教育特区区域内において、
特例に関する措置に基づいて設置する学校について調査審議するため、勝浦市
教育特区学校審議会が設置されます。

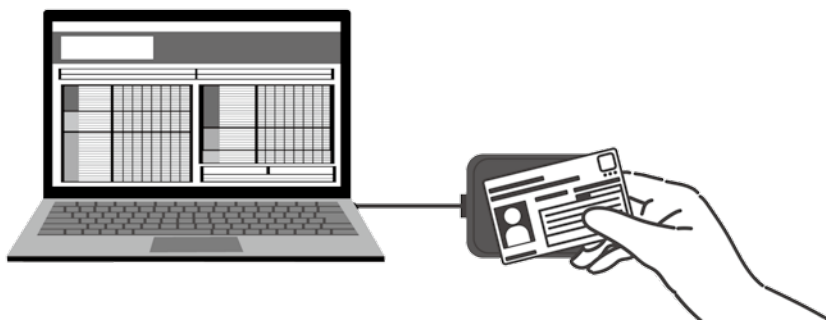
- ・ 審議会は、教育関係者および地域代表者など 6 人の委員により組織されます。
- ・ 審議会は、以下の 3 つの事項を調査審議します。
 - ① 学校教育法に規定する事項
 - ② 学校設置会社による学校設置事業の運営状況等の評価に係る事項
 - ③ 学校に係る市の事務局体制その他の指導監督全般に関する事項

●トピックス その2

勝浦市行政組織条例の一部改正が可決されました。 (議案第78号)

本改正により令和5年4月1日以降、国のデジタル社会の実現に向けた施策や構想を踏まえて、デジタル技術を活用した「行政の効率化」「地域課題の解決」の推進を目的に「情報政策課」を新たに設置することになりました。

同時に、人口減少による地域活力の衰退を防ぐために、移住者に対する支援体制の充実を目的に、移住定住に関する事務分掌を観光商工課から企画課に改編することになりました。



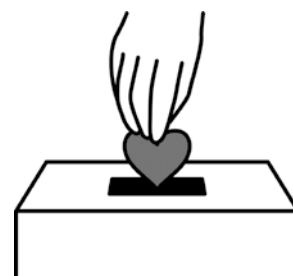
●トピックス その3

ふるさと応援寄附金(個人)の決算見込み額が 48億円に増加！

議案第81号令和4年度勝浦市一般会計補正予算(第8号)

ふるさと応援寄附金が好調で、補正前額の24億円から大幅に超える事が見込まれるため、さらに24億円を追加し48億円とするものです。

魅力ある返礼品が寄附者から評価され、大幅に増加したものであると思われます。



各常任委員会等の活動報告

総務文教常任委員会

12月12日に開催し、付託された条例案6件、令和4年度一般会計補正予算の1件の議案7件の審査を行いました。審議の結果、議案第75号、第76号、第77号、第78号は、全員賛成で、議案第79号、第80号、第81号は、賛成多数で可決され、最終日の本会議において、議案7件については、原案のとおり可決しました。

産業厚生常任委員会

12月13日に開催し、付託された令和4年度特別会計補正予算の3件、指定管理者の指定3件の議案6件の審査を行いました。審議の結果、議案6件について全員賛成で可決され、最終日の本会議において、議案6件については全員賛成で可決されました。

勝浦市議会表彰選考委員会

勝浦市議会表彰受賞者決定

令和4年12月15日に、勝浦市議会表彰選考委員会を開催し、後期分（令和4年7月1日から11月30日の期間）の市内小中学校の児童・生徒を対象とした候補者を学校より推薦していただき、選考審査をした結果、表彰者が決定しました。

なお、表彰式につきましては、令和5年3月定例会の初日に、市役所5階の議場において行われる予定です。

1. 被表彰者 豊浜SBC（豊浜小学校5名・勝浦小学校9名）
表彰基準 第16回春期全日本小学生ソフトボール大会及び
第33回関東小学生選抜ソフトボール大会
千葉県予選会優勝

2. 被表彰者 興津小学校2年生 酒井 海里さん
表彰基準 「令和4年度千葉県愛鳥週間ポスターコンクール」
優秀賞（県知事賞）



行政視察受入・勝浦市議会観光振興議員連盟

行政視察受入

10月31日、静岡県函南町議会総務建設委員会の皆様が「防災」をテーマとした行政視察で来勝されました。

視察に先立ち、勝浦市議会観光振興議員連盟の皆さんにより、庁舎正面玄関前にてお出迎えをしました。

「意見書」を市長に提出

12月議会開会中の9日に、勝浦市議会観光振興議員連盟から「夜間における市民及び観光客の移動手段の確保への意見書」を照川市長に提出しました。



12月8日					12月7日																				
寺尾 重雄 議員	岩瀬 清 議員	戸坂 健一 議員	渡辺ヒロ子 議員	戸部 薫 議員	狩野 光一 議員	岩瀬 洋男 議員	久我 恵子 議員	佐藤 啓史 議員	長田 悟 議員																
①「市長の政治姿勢及び勝浦市総合計画案」について	⑤教職員の労務管理について	④今後の消防団の存続について	③老朽化しているごみ処理施設について	②ふるさと納税について	①勝浦市の畜産、園芸、米作農業者への市としての支援について	①津波避難訓練について	③かつつら朝市の現状と新たな方向性について	②教育関連課題と教育予算拡充について	①市長の外交状況と課題把握について	②水道料金の値下げについて	①国民健康保険税(国保)の引き下げについて	②デジタル化の取組みについて	③高齢者ドライバーによる事故の防止について	①海上の安全について	③フレイル予防について	②新型コロナウイルス感染症について	①帯状疱疹ワクチン接種費用助成について	③自動車のご当地ナンバーについて	②死者数の激増について	①避難所及び避難場所について	⑤国際武道大学との交流促進について	④国などの施設の誘致及び道路網の整備について	③農地法の一部改正に伴う施策について	②農地管理作業料金の設定について	①次期勝浦市総合計画の基本構想について

12月7日・8日の2日間、市政全般について一般質問が行われました。

市政のことが聞きたい
一般質問



一般質問の記事は、発言議員本人が要約したものです。

全文は、勝浦市議会会議録をご覧ください。

また、インターネット録画配信でもご覧いただけます。(各議員のQRコードを掲載しています。)



長田 悟議員

次期総合計画基本構想 (基本方針)について

Q 基本方針の具体策について伺います。

A 教育関係は、子供たちや教職員への支援システムを構築、農林水産業は、担い手の確保・育成及び施設等の基盤整備とともに、農林水産物のブランド化の推進、スポーツ施設は、多目的広場の整備の実施に向けた検討を図っていく。

農地管理作業料金の追加について

Q 標準農作業料金に休耕田等を管理する農地管理作業料金の追加について伺います。

A 農業委員会と協議を検討したい。

農地法の一部改正について



Q 農地法の一部改正の内容等をお伺いします。

(令和5年4月1日施行)

A 農地権利取得の面積要件が撤廃、要件緩和により農地の流動化、遊休農地の解消、就農機会の増加に加え、移住定住につながると思われる。

国などの施設誘致及び道路網の整備について

Q 温暖な気候、自然災害が少ない本市に施設の誘致及び道路網の整備について伺います。

A 誘致については本市に様々な恩恵をもたらすものであることから、インフラ状況、企業支援策、新しい働き方、ライフスタイル等考慮し様々な主体に誘致を働きかけたい。

道路網の整備について

は、松野バイパスの早期完成をはじめ国・県道は県に要望、市道については交通状況を踏まえ、計画的に整備していく。



JAXA 勝浦宇宙通信所入口から
農免道路までの市道整備を要望

国際武道大学との交流促進について

Q 市民と学生の交流により少子高齢化する地域の活性化に結びつくと考えるが交流促進策について伺います。

A 大学との連携については、地域活力の低下といった課題解決にも多くの期待が寄せられ、一層強化する必要がある、発展的協議を図りながら活力あるまちづくりに資する事業を積極的に取り組む。



佐藤啓史議員

避難所について

Q 避難所の総数は？

A 指定一般避難所19か所、指定福祉避難所5か所、自主防災組織2か所の合計26か所である。

Q 建物の構造は？

A 小中学校の校舎が多く、その構造は、校舎が鉄筋コンクリート造、体育館は鉄骨造である。

Q 収容可能人数は？

A 指定一般避難所の合計で、9020人である。

Q 避難路の整備状況は？

A 平成23年度から平成27年度までで、避難路42路線を整備し、平成28年度から、避難場所に至る13の路線に防犯灯を合計33灯を設置した。

Q 停電時の対応は？

A 発電機による対応のほか、ソーラーパネルと



蓄電池の組合せにより対応する。

避難場所について

Q 避難場所の総数は？

A 指定緊急避難場所18か所、津波避難ビル10棟、一時避難場所72か所、災害時に一時避難場所として使用できる寺院が60か所である。

Q 避難場所で使用できるテントを配備してはどうか？

A テントの販売元などとの協定に基づく導入を基本的な考え方として、進めてまいりたい。

Q 勝浦中の教育キャンパスに、防災を取り入れてはどうか？

A 消防防災課とも連携し、防災教育の視点を盛り込んだ実施について、学校に提案したい。

死者激増について

Q 今年に入り日本国内での死者数が激増している。市としてその要因を調べる必要があるのではないか？

A 今のところ、本市で調査することはない。

い当地ナンバーについて

Q 全国各地で、自動車のご当地ナンバーの導入が進んでいる。勝浦市でも近隣自治体と連携して、自動車のい当地ナンバーの導入について、検討してはどうか？

A 導入した場合の効果検証や想定される自治体の枠組みなど、必要に応じて近隣自治体とも協議検討してまいりたい。



元新戸小学校跡地に建設された勝浦市福祉避難所



久我恵子議員

带状疱疹ワクチン接種費用助成について

Q 带状疱疹は50歳代から発症率が高くなり、80歳代までに3人に1人がかかるといわれる。带状疱疹の激しい痛みや後遺症の心配から、予防接種を希望する方も多い。しかし、接種費用が高額な為、費用助成が必要であると考えます。勝浦市において助成をする考えがあるかお聞きします。

A ワクチンに効果があり、発症や重症化を抑えることができる為、接種には意義があると認識している。また費用が高額な為、任意で接種する方の負担が大きい事も事実である。現在、国において定期接種の是非について検討がされている。市



としては国の動向を注視しながら助成の必要性を検討したいと考える。

新型コロナウイルス感染症検査キット購入費用の助成について

Q 新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行が懸念される。発熱時、どちらに罹ったかを判断して医療機関を受診する為には、医療用検査キットが必要である。県内では多くの自治体で検査キットへの助成がされている。勝浦市において助成の考えがあるかお聞きします。

A 市内で医療用検査キットの購入できる店舗は限られており、助成をすることで購入者が集まるおそれがあるため慎重に検討したい。当面は

県の無料配布等の周知や市内薬局での安定的な販売をお願いする。

フレイル予防について

Q フレイル予防は、高齢者1人1人が自分の状態を認識し、自分事としてとらえて取り組む事が重要。他自治体の先進事例を取り入れて取り組むべきと考えます。市のお考えをお聞きします。

A 今年度は通いの場に理学療法士等の専門職が出向き、フレイル予防についての講演や運動指導を行った。フレイル予防は高齢者が、楽しんで積極的に参加できて、予防に効果的な事業を展開する事が重要である。新たな仕組みや事業に積極的に取り組む、市民の健康維持に努めたい。



岩瀬洋男議員

デジタル化の取組について

Q 「イチから学べるスマートフォン講座」はパソコンと違ったデジタルへの入口として素晴らしい事業だと思いますが、来年もこの事業を行っていくのか伺います。

A 受講者の皆さんからも満足という声をいただいています。来年度もできるような方向で協議・検討しています。

Q 経済産業省はデジタル人材の不足やシステム改修の遅れなどにより、国が大きな損失を招く可能性を「2025年の崖」として危惧しています。勝浦市の情報処理やデジタル化推進に2025年の崖は妨げにならないのか伺います。



A 自治体DXの取組みとして住民基本台帳、市税をはじめとする20の業務について国が提供する標準化システムへの移行を進めており、国や県による支援のもと、順調に作業が進行しています。

今後は令和7年度末の移行完了を目標に、関係機関との連携を図りながら、懸念される2025年の崖に留意し円滑な移行に努めてまいります。

Q 地域通貨とは限定された地域での流通を目的としたお金です。地域の中でお金を循環させ、地域経済や地域コミュニティ活性化のために、デジタル地域通貨導入を検討する必要がありますと考えますが見解を伺います。

A 市やその他団体が施策として現金給付等を実施した場合、その消費場所として市内各所が選ばれるようになることから効果的な地域活性化の方法の一つです。

導入コスト・維持管理コスト・制度運用面での課題もあり、慎重にならなければなりません。導入効果も十分期待できることから、今後、関係各所と協議・検討していければと考えます。

Q 国の示すデジタル田園国家都市構想への取組みを伺います。

A 令和5年度より新たに情報政策課の設置を含めこれまで以上にデジタル化政策を推進していく考えです。





狩野光一議員

海上の安全について

Q 最近、季節を問わず海のレジャーを楽しむ方が増え、遊興者どうし、また船舶等との接近機会が増え、事故の増加が危惧されるが、市はどのように対応をしているか？

A 水上オートバイ等については、関係各所と連携して注意喚起のリーフレットを作成し、関係業者に配布している。海水浴については条例を設け、ルールを記したパンフレットを配布、マナー遵守をお願いしている。

Q 水上オートバイ等への注意喚起や海水浴場でのマナーについては、広報されているとのことですが、海の危険要素は複雑で多岐に渡る。現在実施している部分的な対応



で充分と思われるか？

A 水面利用の多様化を踏まえ、様々な立場の方々がお互いに理解し合える、何がしかのルールをつくっていかなくてはならないと考えている。

Q 誰もが注意すべき情報や、ローカルルールなどが分かる「海のハザードマップ」を作成してはどうか？

A しばらく時間をいただき協議していきたい。

高齢ドライバーの事故防止について

Q 高齢ドライバーによる事故を防止するためには「生活のためにやむを得ず運転する」という機会を減らすことが重要で生活環境の改善が大切と考えている。かねてから課題である、デマンドタフ

シー拡充の進捗は？

A 現在、令和5年度を初年度とする「勝浦市地域公共交通計画」を策定中。施策はより早く、より効果的に実施する。

Q 市長が挙げる方策の一つである「移動スパーの充実」はいつごろ実現できるとお考えか？

A 既に民間事業者と協議中であり、ルート選定や関係各所との協議が整いつつある。

Q 夜間、特に深夜帯の交通事情の改善を求める切実な声がある。策定中の計画に、対応する施策は含まれているか？

A 慢性的な運転手不足が解消するよう、事業者に対する行政支援も検討事項となっている。



戸部 薫議員

国保税の引き下げについて

Q 世帯別平等割から一定額を引き下げること。

又、均等割りは18歳までは無料にするなどの方法が考えられます。如何お考えを求めます。

A 国民健康保険事業を健全に運営していくには歳入の約2割を占める国保税は重要な財源であり税率を引き下げることについては慎重な対応が必要と考えます。提案いただいた引き下げの方法の考えはございません。又、均等割りを無料にする事についても実施する考えはございません。

Q 国保税は、年8回に分けて納入します。1回の納入時に千円引き下げで年8千円の引き下げに



なります。国



保税を納めている世帯は何世帯ですか。又、それに必要な財源はおよそ幾らになりますか。

A 国保税対象世帯数は約3千2百世帯です。年8千円の減額は税収で約2560万円の減収になると考えられます。

Q 今年度から国の措置で未就学児の均等割り税額が半分になった人数と、半額に必要な財源額を教えてください。

A 未就学児の半額対象者は77人で、約90万円の減額です。

水道料金の値下げについて

Q 一般会計から繰り出し金を大幅に増やし、県の高料金対策交付金を活用することで値下げは

可能となるのではないのでしょうか。質問します。

A 水道事業については、給水人口の減少やコロナ禍などで、3年連続で純損失が生じており厳しい経営状況です。一般会計及び、県の水道総合対策事業補助金を活用し、料

金上昇の抑制に努めており一般会計繰出し金の増額の考えはございません。

Q 2025年度から水道事業は統合され、新水道料金は更に最長十年かけて検討すると、資料から理解しました。この理解は間違いありませんか。

A 議員おっしゃるとおりでございます。

Q 一般会計から高料金対策で2千5百万円、5千万円を繰り出すと繰入金総額は幾らですか。

A 事務費等を差し引き、それぞれ、4千3百万円、9千3百万円になります。



渡辺ヒロ子議員

市長の初動状況・外交状況について

Q 勝浦市の課題把握は？

A 近隣自治体との共通課題（ゴミ処理施設等の老朽化に係る改修や広域化）について、首長および関係各位と意見交換・協力要請をしている。

Q 本市が目指す方向性は？

A 防災については、海辺と里山の共助体制づくりを進め、年度内にモデル地区の選定を行う。

Q 旧行川アイランドの再開発について、共立メンテナンスとの関係性、現況はどうか？

A 会社を2回訪問し会談した。12月中旬に勝浦で再度、会談する予定。3回目は、年内に勝浦にて協議する予定。



Q これまでも要望してきた市内巡回バス・高齢者の生活上のための交通手段の確保、また、市内観光スポットを繋ぐ周遊バスや高速バスなど、市内交通計画についての現況を伺う。

A 市内巡回バス・周遊バスについては、検討事項に加えている。高速バスは、専用の駐車場も設けて利便性の向上と利用促進を検討する。



教育関連課題と予算拡充について

Q 多様性の尊重や個性・人格を認め合う教育環境づくりを目指し、専門知識を持った民間との協力体制を強化してほしい。

い。子供達にとって効果的な教育予算拡充についての考えは？

A 子供の誕生から教育まで一貫した子育ての支援体制づくり、その拠点となる施設の設置計画に着手する。

勝浦朝市の現状と新たな方向性について

Q 朝市の活性化を図るために、野菜・海産物を増やすための施策・漁協・市内外業者との協力体制づくり、人・物を運ぶ交通手段・運営の見直しについて、市が積極的に関わりを持ち支援していただきたいが、いかがお考えか？

A 開催場所の整備、駐車場と出店の動線整備を課題とし、関係団体と共に活発に協議していく。勝浦ならではの特色をもった出店を目指し、積極的な支援に努める。



戸坂健一議員

津波避難訓練について

Q 勝浦市では定期的に津波避難訓練を実施しているが、実践的な訓練になっているとは言い難い。

まず、津波発生時の消防団の役割について、その理念を記した「消防団員の安全確保及び安全管理マニュアル」（以下マニュアル）の内容について、改めて伺います。

A マニュアルは、津波等各種災害時において「消防団員の命を守ることを最優先とする」「消防団員が自らの命を守ることによって多くの命が救われる」と定めた上で、地域の安全を確保する消防団活動を継続していくために必要な事項を定め、消防団員の安全を確立させるものである。



るものである。

Q しかし、これまでの津波避難訓練では、消防団員が避難所に待機して住民の避難を行う形式が採られている。これは、消防団員の命を守ることが最優先とすべし、というマニュアルの内容と齟齬があるのではないか。

A 今回の訓練における消防団員の活動については、地域防災の中核として指導者的な立場で安全管理等の防災業務に携わって頂いた。今後はマニュアルと整合のとれた訓練が行えるよう検討する。

Q 東日本大震災においては、254名もの消防団員が亡くなられた。このマニュアルは、過去の教訓を取り入れて作成されたはず。常に団員が正しい判断のもと行動できるように徹底すべき。そのために、団員の活動可能時間や津波到達時間などを明確にし、マニュアルに則った形で、緊張感ある実践的な訓練をすべきと考えるが如何か。

A 消防団幹部と協議の上で、訓練時の情報伝達の方法などを改善すべく検討して参りたい。

Q 災害時の消防団員の役割については、団員だけでなく広く市民の皆さんにも周知徹底していかねければならないと考えるが、市のお考えは。

A 全団員へのマニュアル配布のほか、かつうらメイトへの掲載、市民向け講習会などでの周知を図っていく。



宮古市消防団では津波時活動時間を15分と規定



岩瀬 清議員

勝浦市の畜産、園芸、米作農業者への市としての支援について

Q 新型コロナウイルス、ロシアのウクライナ侵攻などの世界情勢による景気の低迷、物価高による飼料、肥料の高騰で農業従事者にも多大な悪影響が及んでるが、どのような支援を考えるか。

A 畜産業者及び農業者に対して、営農意欲の向上と農業経営の安定化を目的とし、勝浦市飼肥料価格高騰対策支援補助金を令和4年11月末日現在で62件195万円を交付しました。

ふるさと納税について

Q 今後はどのように役立てていくのか。

A 寄付してくださった方々の勝浦を応援しようという気持ちを大切に、



将来の発展のため有効な活用を図ります。過去8年間で返礼品や関連経費を除いた金額は、合計20億5079万6880円。

老朽化しているごみ処理施設について

Q 今後はどのように使用していくつもりか。

A クリーンセンターは稼働開始から37年が経過し、老朽化が進んでいきます。必要に応じて修繕等を行っているが、予想し得ない急な設備の故障による停止時については、災害時協定により、県内の施設の相互協力に対応することとなっています。

人口減少における今後の消防団の存続について

Q 勝浦市消防団の団員数と世代別の人数は？

A 人口減少における人材確保については、機能別消防団員の導入により対応していますが、このほかに全国の取組を研究してまいりたい。団員数と世代別人数は、条例定数423人に対し実員は373人。世代別人数は、20歳代31人、30歳代143人、40歳代156人、50歳代40人、60歳代3人。

教職員の労務管理について

Q 教職員の労務管理は誰が行っているか、調整手当はいつから支給されるようになったのか、現在の調整割合は妥当か。

A 校長が労務管理を行っています。調整手当は昭和46年に施行された特別措置法第3条の規定により、給料月額額の4%が支給されています。又、妥当であるかは、国が定めているものであるため、お答えしかねます。



寺尾重雄議員

市長の市政への取組として掲げた「基本方針」について

Q 市長は「一箱ものに関しては慎重に」「人づくりへの投入は大胆に」と言われましたが、具体的にはどのような対策か、お伺いします。

A 総合計画案の「一箱ものは慎重に」ですが、公共施設を新たに設置する際には、既存施設の活用を検討することが必要です。箱もの建設による過度な負担が財政状況を圧迫することは回避すべきであると考えます。「人づくりへの投入は大胆に」ですが、将来「子どもから老人まで、安心して心豊かに暮らせるまちづくり」郷土愛を育むことも重要です。



Q 「高齢者の福祉の充実」の一つ、買い物の難民にデマンドタクシー・そしてスクールバス問題、巡回バスの提供についてお伺いします。

A デマンドタクシー・ミニバスは協議し始めました。買い物難民・移動スパー等、早急に対応していきたいです。

「総合計画」における、今後の農林業・水産業・観光の復興、ビジネス支援、生活基盤の整備について

Q 耕作する農地は年々減っており、水産も同様に付加価値・生産・従事者の担い手の問題等あります。外国人の受け入れやふるさと納税を投資、国の交付税措置など色々な面で保護をする対策について考えをお伺いし

ます。

A 休耕田を見て回り担い手対策について会議しました。農水共担い手なく、未来の展望はありません。若者から高齢者、外国人も生き生きと働ける環境、誰もが目的を持ち、自分の生活を豊かに、これを目指して就労、様々な点でのネットワークを組めるといいなと思っています。

Q 地元の商店街と協定を結び、観光の強化・観光客を呼ぶための協議など対応をお伺いします。

A 商工業者と魅力的な商店街が、時代や消費者のニーズに対応したサービスの提供、また観光はDMOを中心とした地域連携体制のもとで地域資産が十分に生かされた観光地を目指します。



きみの未来、あなたの未来



勝浦中学校 1年
すずき ひなの
鈴木 日菜乃 さん

私の将来の夢は看護師になることです。私は人見知りの性格で、病院に行くと人見知りの面が出てしまい緊張していました。そんな時に、ある看護師さんが私に笑顔で優しく接してくれました。それがきっかけで人見知りな部分が少しずつなくなってきたように思います。その時から、私はあの看護師さんのように人に寄り添うことのできる看護師になろうと思うようになりました。

議会のうごきについて報告します (令和4年11月～令和5年1月)

議会のうごき

11月2日	11月臨時会 議会改革検討委員会	23日	勝浦市芸術文化交流センター運営協議会
8日	千葉県後期高齢者医療広域連合議会定例会 (千葉市)	26日	観光商工審議会 歳末特別警戒出動式
16日	市民憲章改編検討委員会 夷隅郡市負担金審議特別委員会 (いすみ市)	27日	都市計画審議会
21日	市政懇談会	令和5年	
22日	全員説明会・全員協議会・議会改革検討委員会	1月6日	青少年問題協議会
24日	環境審議会	8日	二十歳を祝う集い
30日	議会運営委員会	10日	交通安全祈願祭 (遠見岬神社)
12月5日	本会議 初日	11日	水産業振興対策協議会
7日	本会議 一般質問	16日	観光商工審議会
8日	本会議 一般質問	17日	千葉県南市議会議長会議員研修会 (山武市)
9日	本会議 質疑	24日	学校給食共同調理場運営委員会 企業誘致推進審議会
12日	総務文教常任委員会	27日	全員協議会・議会運営委員会・表彰選考委員会 広報広聴常任委員会
13日	産業厚生常任委員会	28日	大網白里市市制施行 10 周年記念式典 (大網 白里市)
15日	本会議 最終日 表彰選考委員会・広報広聴常任委員会	31日	千葉県市議会議長会研修会 (千葉市)
21日	広報広聴常任委員会 (議会報対談)		
22日	水道事業運営審議会・環境審議会		

編集後記

海の博物館での対談の中で、勝浦市は海の自然と直接ふれあえる場との説明がありました。私も以前、海釣り(アジ釣り)にはまり、四季折々の朝・夕・夜の海の変化を実感していました。

勝浦市の海、里山では、四季折々、特に二十四節気の変化を感じることができる食材も豊富にあります。この素晴らしい自然環境を多くの方々に知ってもらおうと共にいつまでも維持していきたいと思うところであります。

広報広聴常任委員 長田 悟

お問い合わせは、勝浦市広報広聴常任委員会(73-6662)まで

勝浦市ホームページ <http://www.city.katsuura.lg.jp>



QRコードは
ここだよ!

勝浦カッピー

